

## 別添 5. JISNAS 便り

---

JISNAS 便り（1） ～JISNAS 便りの配信を開始しました～

<JICA/JISNAS 定期連絡会準備会合について>

標記会合は以前より懸案でしたが、JICA 農村開発部長が交代したこの時期、これまでの両者の関係や協力の経緯等の説明旁々、定期連絡会の設置に向けた準備会合を明日 8 月 5 日に JICA 本部で行います。今回は直前に決まった日程のため、田中運営委員長と山内副委員長がご都合により参加できず、また、運営委員の皆様には参加の依頼もしておりませんので、事務局が対応する予定としています。ご承知のように、JICA は JISNAS のアドバイザー機関でもありますし、JICA 事業への参画等も視野に入れておりますので、今後の協力のあり方等について協議したいと考えております。その結果につきましては、後日お知らせいたします。直前で申し訳ございませんが、もし協議事項等についてご意見がありましたら、至急事務局までお知らせいただければ幸いです。

## JISNAS 便り (2) ～オープンフォーラム開催～

### <「農学国際協力」誌の刊行について>

「国際協力の一分野としての「農学国際協力」は、農学の基本理念に忠実に、国々の発展を基盤とした世界平和を構築するための人道的な見地からの協力はいうまでもなく、日本をはじめとする国々の国益という見地からも、相互の技術協力や人材育成を通して、世界の食料の安定的確保や地球環境保全に貢献することが求められております。本誌はこのような観点から、グローバルに展開する農林水産物の生産や流通、消費とそれらを保証する地球環境の自然科学的・社会科学解析、ならびに農林水産技術開発に関わる教育等の国際協力活動を通じた人材育成に関する原著論文、総説およびケースレポートを掲載することとする。このことにより、農学研究者・技術者が国際協力に関わる研究や技術開発に従事するにあたっての理念的根拠を深化させ、有用な実践的知的成果のさらなる発展に資すること、また国際的な農学教育を推進することを目的としています。」(以上、コンセプト(案)より。)

このような趣旨で、JISNAS を中心に編集委員会を編成し、当面は農国センターの責任で刊行することを予定しています。今後の進展につきましては随時お知らせいたします。

### <オープンフォーラムについて>

本年 10 月 21 日、22 日(木、金)、第 11 回名古屋大学農学国際教育協力研究センターオープンフォーラム「農学国際協力：新たな学問の創出に向けた知の集積」を名古屋大学野依記念学術交流館にて開催予定です。本オープンフォーラムは、上記「農学国際協力」誌刊行のキックオフミーティングと位置づけ、メンバー校等からのケースレポート報告と「農学国際協力」という新しい学問分野創出に向けたその方向付けの議論を行いたいと考えています。講演者や講演題目等が決定次第、改めてご連絡いたしますが、今からご参加のご予定をお願いいたします。JISNAS 同様、メンバーによる積極的な議論を期待しております。

### <JISNAS 運営委員会・総会について>

10 月 22 日(金)午後、JISNAS 運営委員会と総会を開催いたします。詳細は後日ご連絡いたします。運営委員とメンバー会員の皆さんは日程の確保をお願いいたします。

JISNAS 便り (3) ～ホームページ改訂中～

<JISNAS ホームページの改訂について>

事務局では、10月21、22日のオープンフォーラムでの新規公開を目標として、ただいまJISNASホームページ(HP)の改訂に向けた準備をしております。言うまでもなく、HPはJISNAS会員に対する情報発信のツールであるだけでなく、会員相互の意見交換や情報交換ならびに情報収集などのツールとなります。その関連で各メンバーの機関名、代表者名、コンタクトパーソン名等のHP公開事項についてのご確認をとっております。まだ未回答の皆様には早々のご回答をお願い申し上げます。

<JISNAS 運営委員会、総会について (再送) >

10月22日(金)午後、JISNAS 運営委員会と総会を開催いたします。詳細は後日連絡いたします。運営委員とメンバー会員の皆さんは日程の確保をお願いいたします。

## JISNAS 便り（４） ～海外調査募集～

### <プロジェクト形成に向けた海外調査（募集）>

国際共同研究プロジェクト等の形成を目的とする海外調査を募集します。平成 23 年 2 月 10 月までに海外調査報告書とプロポーザル案の提出が条件。取りまとめて、国際協力イニシアティブ事業予算の増額要望として文部科学省に申請しますので、下記の要領で、9 月 28 日(月) 9:00 までに JISNAS 事務局まで。

【提案内容 (A4 半頁程度に)】：氏名、所属、調査目的、調査対象国・機関(複数可)、出張予定期間、旅費(概算で可、1 件 30 万～50 万円程度)

### <JISNAS 運営委員会、総会について>

運営委員会：平成 22 年 10 月 22 日(金) 12:10～13:30

総 会：平成 22 年 10 月 22 日(金) 13:40～15:00

場 所：名古屋大学野依記念学術交流館

運営委員とメンバー会員の皆さんは日程の確保をお願いいたします。

### <第 11 回オープンフォーラム「農学国際協力：新たな学問の創出に向けた知の集積」>

(<http://icca.e.agr.nagoya-u.ac.jp/seminer/1282126832.html>)

日 時：平成 22 年 10 月 21 日(木) 13:00 ～ 10 月 22 日(金) 12:00

場 所：名古屋大学野依記念学術交流館

主 催：名古屋大学農学国際教育協力研究センター

共 催：文部科学省

参加をお待ちしております。なお、参加申込みについては ICCAE ホームページ

(<http://icca.e.agr.nagoya-u.ac.jp/events/201011of/11ofinfo2010.html>)

をご参照ください。

JISNAS 便り (5) ～JISNAS 事務局次長の着任～

<JISNAS 事務局次長の着任>

10月1日付けで、JISNAS 事務局次長として JICA より参りました伊藤圭介と申します。今回より、JISNAS 便りの編集人を務めさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

私は、この9月末まで、JICA 企画部開発課題課の主任調査役として、開発課題(食糧安全保障等)及び分野課題横断イシュー(ミレニアム開発目標、キャパシティ・ディベロップメント、南南協力等)に関する情報収集・分析・発信や JICA 内の知見の蓄積と共有・発信を目的としたナレッジマネジメントの推進等に従事してきました。また、企画部以前には、農村開発部、ボリビア事務所に所属し、所属部署での計画・調整業務や農業・農村開発分野の案件形成・運営管理等に従事してきました。

これらの経験を活かし、農学知的支援ネットワークのサポート業務に、微力ながら全力を尽くしたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

<JISNAS 運営委員会、総会について>

運営委員会：平成22年10月22日(金) 12:10～13:30  
総 会：平成22年10月22日(金) 13:40～15:00  
場 所：名古屋大学野依記念学术交流館

運営委員とメンバー会員の皆様はご出席と活発なご審議をよろしくお願いいたします。

なお、別途メール等にてご案内のとおり、総会の出欠につきましては、10/14(木)までをお願いいたします。

<第11回オープンフォーラム「農学国際協力：新たな学問の創出に向けた知の集積」>

(<http://iccaae.agr.nagoya-u.ac.jp/seminer/1282126832.html>)

日 時：平成22年10月21日(木) 13:00 ～ 10月22日(金) 12:00  
場 所：名古屋大学野依記念学术交流館  
主 催：名古屋大学農学国際教育協力研究センター  
共 催：文部科学省

皆様の参加をお待ちしております。なお、参加申込みについては ICCAE ホームページ (<http://iccaae.agr.nagoya-u.ac.jp/events/201011of/11ofinfo2010.html>) をご参照ください。

JISNAS 便り (6) ～ アフガニスタン国人づくりプロジェクト (仮称) ～

<アフガニスタン国人づくりプロジェクト(仮称)に関する意見具申(案)>

10/22 の JISNAS 総会にて説明したとおり、JICA は、技術協力プロジェクト「アフガニスタン国人づくりプロジェクト(仮称)」の実施を計画しています(別添 1 参照)。総会で出たコメント等を踏まえ、文科省及び JICA に対する意見具申案を、別添 2 のとおり取りまとめました(文科省、JICA 宛とも内容は同じです)。追加意見や要望がありましたら、来週水曜日(11/3)までに、事務局宛に連絡ください。

<「アフガニスタン国人づくりプロジェクト(仮称)」に関する JICA 説明会>

「アフガニスタン国人づくりプロジェクト(仮称)」に関する説明会が、JICA 札幌、JICA 東北、JICA 中部、JICA 大阪、JICA 中国、JICA 九州および JICA 本部において開催される予定です。留学生受入に当たっての要望等を直接表明する機会ですので、積極的に参加ください。

同説明会への参加を希望される方で、まだ JICA から開催案内の連絡を受けていない場合は、JISNAS 事務局まで連絡ください。日程等の情報を JICA に確認の上、連絡いたします。(なお、JICA 中部での説明会は、11 月 12 日(金)10 時から実施予定です。他地域での開催日時等につきましても、情報入手次第、連絡いたします。)

<「農学国際協力」誌の名称(和文・英文)の募集>

「農学国際協力」誌の和文・英文名称を募集します(運営委員会での配布資料(別添 3)を参照)。ショートノーティスで恐縮ですが、11/2(火)までに提案をお願いします。

JISNAS 便り（7） ～JISNAS 総会の結果報告～

<JISNAS 総会議事録の送付>

10月22日に開催いたしました標記会合の議事録および当日配布資料を別添のとおり送付いたします。総会に出席できなかったメンバーの方で、ご不明な点、質問等ございましたら、JISNAS 事務局までご照会ください。

<アフガニスタン国人づくりプロジェクト（仮称）に関する意見具申書の提出>

11月8日付けで、文科省およびJICAへ別添資料のとおり意見具申書を提出いたしました。JICAからは、大学側からの貴重な意見に感謝している旨の連絡を得ています。文科省からも、今後JICAとの打合せ方法について検討予定である旨連絡を受けました。ご協力ありがとうございました。

<「アフガニスタン国人づくりプロジェクト（仮称）」に関するJICA説明会>

今週木曜日より、標記プロジェクトの説明会が全国各地で開催される予定です。以下のとおり、JISNAS 事務局にて同説明会のスケジュールを把握しておりますので、参加を希望される方で、まだJICAから開催の案内を受けていない場合については、JISNAS 事務局まで至急ご連絡をお願いいたします。

- ・中国地区：2010年11月11日（木）15時～17時（JICA 中国センター会議室）
- ・中部地区：2010年11月12日（金）10時～12時（JICA 中部センター会議室）
- ・札幌地区：2010年11月16日（火）9時～11時（北海道大学百年記念会館第三会議室）
- ・大阪地区：2010年11月17日（水）14時～16時（JICA 大阪センター会議室）

（注：関東地区、九州・沖縄地区の開催予定については、11月22日～12月3日で調整中です）

## JISNAS 便り（８） ～国内知的支援リソースについて～

< 「国内知的支援リソース」アンケート調査への協力依頼について >

### 1. 背景

名古屋大学農学国際教育協力研究センターは、文科省から委託された「国際協力イニシアティブ」教育協力拠点形成事業の一環として、IReNe-AFF (Database of Intellectual Resources and Needs in Areas of Agricultures, Forestry & Fisheries )を整備しています。

IReNe-AFF は、「国内知的支援リソース」と「途上国の援助ニーズ」から構成されます。リソースとニーズを分析し、文科省による今後の国際協力政策に資する提言を行い、また科学技術 ODA 等の共同研究に活かすことをねらいとしています。

また、JISNAS 事務局では、IReNe-AFF を管理、活用し、国内リソースおよび途上国援助ニーズに関する JISNAS 会員からの照会に対応していく予定です。

### 2. 依頼内容

貴学部・室・センターの教員、研究者を対象に、「国内知的支援リソース」に関するアンケート調査への協力依頼をお願いいたします。アンケートへの回答手順については、以下の（１）～（４）の通りです。

なお、回答期日は 2010 年 12 月 15 日（水）までとさせていただきます。メンバーのみならずには積極的なご協力をよろしくお願いいたします。

（１）<http://www.inicaf.org/irene/resources.php?lang=j> にアクセスする。

（２）「アンケートの目的」、「アンケートの趣旨」、「調査対象」、回答に当たっての留意点」、「データの取り扱い」を参照の上、Q1～Q14 の各項目に回答する。

（３）回答後、「送信」ボタンを押す。

（４）確認画面で内容を最終確認の上、間違いがなければ「確定」ボタンを押す。修正が必要な場合は、「修正」ボタンを押し、内容を修正する。

### 3. 留意事項

（１）未記入／未選択の項目があると、回答は送信されませんので、必ず全ての項目を記入してください。

（２）記入によって得られた個人情報については、アンケート結果分析の際の分類および

本データベース管理担当者が職務上必要な連絡を取るために使用することがありますが、一般公開することはありません。

#### 4. その他

前述のとおり、IReNeAFFは、「国内知的支援リソース」と「途上国の援助ニーズ」の双方のデータベースにより構成されています。回答者のみなさまで、共同研究や調査などを通じて海外の研究者/専門家をご存じでしたら、援助ニーズに関するアンケート調査への協力を呼びかけていただけますと幸いです。同アンケート

は、<http://www.inicaf.org/irene/needs.php> からアクセスできます。ご協力の程、よろしく願いいたします。

<平成 22 年度「国際協力イニシアティブ」事業経費増額申請の承認>

9 月 22 日に配信いたしました JISNAS 便り(4)「海外調査募集」により、宮崎大学および山形大学から提案のありました海外調査を含む国際協力イニシアティブ事業経費増額申請が承認された旨の連絡を文科省より受けました。

JISNAS 事務局は、ネットワークを活用した国際共同研究プロジェクト等の形成をサポートしていきますので、ご提案、照会等あれば、JISNAS 事務局までご連絡ください。

**JISNAS 便り（9） ～JICA「アフガニスタン国人づくりプロジェクト（仮称）」説明会概要  
報告～**

11月12日（金）、JICA 中部にて開催されました「アフガニスタン国人づくりプロジェクト（仮称）」説明会の概要を別添のとおり報告いたします。

本件についての質問、不明な点等ございましたら、JISNAS 事務局まで照会ください。また、他の地域の説明会に参加された方で、追加情報等ございましたら、JISNAS 事務局までご連絡いただけますと幸いです。

## JISNAS 便り(10) ～運営委員の役割分担と有用 ODA 情報サイトの紹介～

<平成 22 年度 JISNAS 活動計画と活動項目毎の運営委員および事務局の担当について>

10 月 22 日の JISNAS 総会にて承認されました平成 22 年度 JISNAS 活動計画について、活動項目ごとの運営委員および事務局の担当が決定いたしましたのでお知らせします。

22 年度も残すところ約 3 ヶ月となりました。事務局では、現在、運営委員の協力を得て、会員の獲得活動、海外コンサルティング協会 (ECFA) など関係団体との連携、ホームページの構築などに努めています。ホームページについては、改訂版の最終校正が遅れておりますが、1 月中旬にはリニューアルできそうな見込みとなりました。今後は、下記 3. 「国際協力事業の公示・公募情報」も含めた農学分野における ODA 関連情報を随時ホームページにアップしていきますのでご期待下さい。

国際協力に関するご質問、情報提供等がございましたら、JISNAS 事務局までお気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。

<JICA ナレッジサイトについて>

JICA では、開発課題を 23 分野に区分した上で(注 1)、事業を通じて得られる知見の蓄積、体系化・共有を図っています。これら知見の一部は、「JICA ナレッジサイト」([http://gwweb.jica.go.jp/km/km\\_frame.nsf](http://gwweb.jica.go.jp/km/km_frame.nsf))にて公開されています。(注 2)

「JICA ナレッジサイト」は、「分野課題情報」と「プロジェクト情報」の二つのデータベースで構成されています。前者では、分野課題別の JICA 協力量針、協力上の留意点等をまとめた「課題別指針」および「案件形成のための簡易な情報検索」等のコンテンツにアクセス可能です。後者では、国名、案件名、分野、協力量案、協力期間などから、JICA の各種事業 (技プロ、開発調査、草の根技術協力、集団研修など) の概要を検索、閲覧できます。

大学という組織で国際協力活動を進める上で、一つの有益な情報源と思われるので、ご参考までにご活用ください。

注 1: 「農業開発・農村開発」、「水産」を含む。

注 2: JICA ナレッジサイトは基本的には社内データベースとして構築されていますが、その情報の一部は、幅広く ODA 関係者と共有するために公開されています。

<国際協力事業の公示・公募情報>

農学分野における JICA 公示情報(12/15)を別添のとおり送付します。ご参考までにご活用ください。ご不明な点等ございましたら、JISNAS 事務局までご連絡ください。

JISNAS 便り (11) ～アフガニスタン人づくりプロジェクト (仮称) について～

<アフガニスタン国人づくりプロジェクト (仮称) について>

(注: 本案件の名称は「アフガニスタン未来への中核人材育成プロジェクト」に変更される模様です)

JICA は 12 月に再度アフガニスタンへの現地調査を実施し、当初の予定どおり、年明けに本邦大学への関心表明及び情報提供の正式依頼を行う見通しです (具体的な依頼日については、情報を入手次第、ご連絡するようにいたします)。

これまで JISNAS 事務局は、本案件に関する各種情報の収集・提供や、会員大学よりの要望・意見の取りまとめ及び文科省・JICA への意見具申などを行ってきました。今後は、JICA から関心表明・情報提供の正式依頼が出された場合について、現段階では JISNAS が希望大学全体の窓口になることはできませんので、受入希望の各大学が直接 JICA に対して関心表明を示し、その後、入学希望の留学生に対する試験の実施、JICA (又は代理機関) との留学生受入に関する契約手続きを行う手順になりますので、その旨ご承知おき頂きますようお願いいたします。

JISNAS 事務局としては、引き続き本案件に関する情報収集・共有に努めるとともに、JICA と各大学および大学間の橋渡しのサポートなどを行っていく所存ですので、ご要望等ございましたら、お気軽に事務局までご連絡頂きますようお願いいたします。

<国際協力事業の公示・公募情報>

農学分野における JICA 公示情報(12/22)を別添のとおり送付します。12 月は通常公示される案件が多い時期であり、今週も農学関係で多く公示されています。ご不明な点等ございましたら、JISNAS 事務局までご連絡ください。

## JISNAS 便り (12) ～会員獲得活動について～

### <JISNAS 活動報告：会員獲得活動>

JISNAS 事務局は運営委員の協力を得て、農学知的支援ネットワークの更なる拡大に向け、昨年末から JISNAS に未加入の大学への勧誘活動を開始しました。これまでに 6 大学（宇都宮大学、千葉大学、東京農工大学、日本大学、茨城大学、首都大学東京）を訪問するとともに、今週金曜日には東京大学、また、来週からは西日本地域及び中部地方の大学（佐賀大学、山口大学、島根大学、京都府立大学、近畿大学、信州大学、岐阜大学、名城大学等）を訪問する予定です。

訪問先では、JISNAS 設立の趣旨、これまでの取り組みおよび今後の活動計画などを説明していますが、今回の訪問により、JISNAS が目指す方向性について多くの大学教員が共感していることが確認されました。

一つでも多くの大学が JISNAS の存在を知り、参加頂くよう、引き続き勧誘活動を行っていく所存です。上述の大学以外で勧誘すべき大学をご存じの場合は、JISNAS 事務局までご連絡ください。

### <国際協力マル得情報：JICA マルチメディア教材>

JICA は、事業の効率と効果、質の向上を図るために、様々なマルチメディア教材を整備しており、それらの教材には JICA ホームページの「JICA-Net」

(<http://jica-net.jica.go.jp/ja2/index.html>) からアクセス可能です。

現在、分野課題「農業・農村開発」では 25 アイテム

(<http://jica-net.jica.go.jp/dspace/items-by-subject?subject=Agricultural%2C+Rural+Development>)

分野課題「水産」では 2 アイテム

(<http://jica-net.jica.go.jp/dspace/items-by-subject?subject=Fisheries>) のコンテンツが作成されています。

これらのコンテンツは、国際協力活動（技術協力プロジェクト、草の根技術協力、研修員受入など）のみならず、海外からの留学生や日本人学生に対する大学での教育活動においても活用可能と思われます。例えば、農学部の学生に戦後日本の生活改善運動についての講義やゼミを行いたい場合、「日本の生活改善の経験（The Lessons from Livelihood Improvement Experiences in Postwar Japan）」(<http://jica-net.jica.go.jp/dspace/handle/10410/220>) のコンテンツを利用してみるのも一案です。コンテンツにより使用言語は異なりますが、日本語、英語のみならず、その他の言語でも作成されているコンテンツもあります。

JICA マルチメディア教材の利用手順は以下の通りです。

- (1) JICA-Net トップページ (<http://jica-net.jica.go.jp/ja2/index.html>) にアクセス
- (2) 左フレーム一番上の「ライブラリ」をクリック
- (3) 左フレームのブラウザの「コミュニティ&コレクション」をクリック
  
- (4-a) Library の「Open Access/一般向け」をクリック
- (5-a) 「検索」から必要なコンテンツを探し、利用したいコンテンツをクリック
  
- (4-b) 「Internal Access/JICA 関係者向け」をクリック
- (5-b) 「検索」から必要なコンテンツを探す
- (6-b) 利用したいコンテンツがある場合は、JISNAS事務局 ([jisnas@agr.nagoya-u.ac.jp](mailto:jisnas@agr.nagoya-u.ac.jp)) までご相談ください

その他ご不明な点は、JISNAS 事務局まで照会ください。

<国際協力事業の公示・公募情報：JICA 公示情報>

農学分野における JICA 公示情報(1/12)および公募情報(1/7)を別添のとおり送付します。  
ご不明な点等ございましたら、JISNAS 事務局までご連絡ください。

JISNAS 便り (13) ～アフガニスタン「未来への架け橋・中核人材育成プロジェクト (旧名称：人づくりプロジェクト)」の今後のスケジュール～

<アフガニスタン「未来への架け橋・中核人材育成プロジェクト (旧名称：人づくりプロジェクト)」の今後のスケジュール>

JICA によれば、今後のスケジュールは以下の通りです。遅くとも 2 月上旬には、JICA から直接各大学に要望調査の資料が送付される予定です。アフガニスタン留学生受入を検討して頂いている大学で、資料が届かない場合は、送付先等について JICA に照会いたしますので、その際にご連絡ください。

■日本国内での日程

1. 各大学へ要望調査の送付  
⇒1 月末～2 月上旬
2. 各大学からの要望調査への回答締めきり  
⇒3 月上旬
3. 大学の選定通知  
⇒3 月下旬を想定

■アフガニスタンでの選考日程

- 2011 年 4 月：現地での募集開始
- 2011 年 5 月：募集締め切り、英語・理数科試験の実施
- 2011 年 6 月：書類選考
- 2011 年 7 月：TV 会議による面接、仮合格、正規出願
- 2011 年 9 月：来日前オリエンテーション、来日

<国際協力事業の公示・公募情報：JICA 公示・公募情報>

農学分野における JICA 公示・公募情報(1/31)を別添のとおり送付します。ご参考までにご活用ください。ご不明な点等ございましたら、JISNAS 事務局までご連絡ください。

JISNAS 便り (14) ～JISNAS ホームページのリニューアルについて～

<JISNAS 活動報告：ホームページのリニューアルについて>

会員の皆様との情報の共有を更に円滑にする目的で、動的ホームページの構築に取り組んで参りましたが、今般、改修作業が完了し公開できる運びとなりました。つきましては、近日中に会員の皆様に、ホームページにおける会員専用ページおよび会員情報管理ページへアクセスするための ID およびログインパスワードを下記の通りお知らせいたしますので、予めご承知おきください。

【会員専用ページ】（以下の会員共通 ID およびパスワードより会員専用ページへはログインしていただけます。）

■ログイン ID：membersonly

■ログインパスワード：j1Sn@S

【会員情報管理ページ】（会員それぞれに、専用の ID およびパスワードが送付されますので、会員情報管理ページへのアクセスの際にご利用ください。）

■ログイン ID：別途、通知いたします専用の ID を入力

■ログインパスワード：別途、通知いたします専用パスワードを入力

※また、団体会員については、代表者と担当者に同一の ID とパスワードが送付されます。

今後、このホームページを活用し、国際協力活動の推進に有用な情報や知見を会員間で共有していきたいと思っております。JISNAS 事務局は、引き続き関連情報の収集・共有に努めて参りますが、会員の皆様におかれましても、会員間で共有すべき情報(国際協力や現地学生実習等に関係する先行事例など)がございましたら、事務局まで積極的にご提供いただきますよう、よろしくご承知おき申し上げます。

<「アフガニスタン 未来への架け橋・中核人材育成プロジェクト」に係る要望調査のスケジュールについて>

1/31 付け JISNAS 便り (13) にて、JICA から各大学への要望調査票の送付は、1 月末～2 月上旬の予定である旨お伝えしましたが、JICA にスケジュールについて再確認したところ、同調査票の送付は、内部手続きの関係上、来週以降になるとのことですので、ご承知おき願います。

<国際協力事業の公示・公募情報：JICA 公示情報>

農学分野における JICA 公示(2/9)・公募(2/4)情報を以下 URL に掲載しましたのでご活用ください。ご不明な点等ございましたら、JISNAS 事務局までご連絡ください。

<http://jisnas.com/project/55.html>

JISNAS 便り (15) ～バングラデシュ社会的脆弱層の栄養改善に資する水産資源の有効利用  
に関する共同研究について～

<照会：「バングラデシュ社会的脆弱層の栄養改善に資する水産資源の有効利用」に関する共同研究について>

バングラデシュの研究者から、JICA杉山国際協力専門員を通じて、以下に関する共同研究の可能性について照会がありました。水産と農学研究の協働を目指し、特に農業と養殖の統合生産システムや栄養改善のインパクト評価等に興味のある研究者を探しています。(まだ限られた情報ではありますが)本件についてご関心のある会員は、JISNAS事務局 ([jisnas@agr.nagoya-u.ac.jp](mailto:jisnas@agr.nagoya-u.ac.jp)) までご一報ください。

I. 依頼元

The World Fish Center (WFC), Consultative Group on International Agriculture Research (CGIAR)

II. 研究対象国

バングラデシュ

III. 研究テーマ

社会的脆弱層の栄養改善に資する水産資源の有効利用

IV. 共同研究機関(Provisional)：

University of Dhaka, Institute of Nutrition and Food Science, Department of Biochemistry and Molecular Biology Bangladesh Agricultural University: Faculty of Fisheries

V. 提案された研究内容(詳細は添付のワード資料を参照ください。また、共同研究の依頼者が国際会議(世界繁殖会議)で発表したプレゼン資料が以下 URL よりアクセスできますので、併せてご参照ください)

<http://jisnas.com/member/materials/56.html>

1. Effectiveness studies to demonstrate the impact of fish production, in an integrated aquatic agriculture system (including poultry and vegetables) on nutrition and health, especially in women and children in Bangladesh

2. Linking fisheries and nutrition: Expansion of fish production technologies in ponds and wetlands with nutrient-rich small fish species in Bangladesh

3. Nutrient analyses of common fish species, with focus on micronutrients

<アフガニスタン 未来への架け橋・中核人材育成プロジェクトに係る留学生受入大学要望調査票>

本案件に係る留学生受入大学要望調査票が、今週月曜日 2 月 21 日に関係大学に郵送されました。同調査票の送付を希望されていた関係者のところには、書類が既に届いているかと思えます。万が一まだ届いていない場合は、JISNAS 事務局から貴大学宛の送付の有無を確認することもできますので、遠慮なくご連絡ください。

<国際協力事業の公示・公募情報：JICA 公示情報>

農学分野における JICA 公示(2/23)情報を以下 URL に掲載しましたのでご活用ください。ご不明な点等ございましたら、JISNAS 事務局までご連絡ください。

<http://jisnas.com/project/57.html>

JISNAS 便り（臨時版）～平成 23 年度国際共同研究人材育成推進・支援事業の事業公募～

農林水産省技術会議事務局より、以下の通り、平成 23 年度国際共同研究人材育成推進・支援事業の事業公募に関する連絡がありましたので、お知らせいたします。  
本件について、ご不明な点がございましたら、農林水産省農林水産技術会議事務局 国際研究課（担当：吉橋・佐藤）（TEL：（03）3502-8111（内線5902））まで照会願います。

<平成 23 年度国際共同研究人材育成推進・支援事業の事業公募のお知らせ>

農林水産省農林水産技術会議事務局では、修士・博士課程の学生を含む、我が国若手研究者を国際農業研究機関等に派遣し、国際共同研究を遂行するための能力を備えた研究者等を育成する委託事業を実施いたします。このため、本委託事業を受託する企業・研究機関等を一般に広く募っています。詳細は以下のホームページをご覧ください。

[http://www.s.affrc.go.jp/docs/research\\_international/2011/jinzai\\_2011.htm](http://www.s.affrc.go.jp/docs/research_international/2011/jinzai_2011.htm)

また、本事業の公募説明会を、以下の日程と場所で開催いたします。ご関心のある皆様の参加登録をお待ちしております。

■第一回公募説明会 1月21日（金）15:00～16:00、場所：農林水産省農林水産技術会議事務局資料室（本館南側6階ドア番号「本679」）

■第二回公募説明会 2月3日（木）14:00～15:00 場所：農林水産省農林水産技術会議委員室（本館南側6階ドア番号「本678」）

\*当日の説明資料及び説明会での質問に対する回答については、上記ホームページ内で、逐次、公表させていただきます。また、本事業の詳細・公募説明会等については、下記担当までお気軽にお問い合わせください。 よろしく申し上げます。

農林水産省農林水産技術会議事務局 国際研究課  
担当：吉橋・佐藤  
TEL：（03）3502-8111（内線5902）  
FAX：（03）5511-8788

JISNAS 便り（臨時版 1/28） ～平成 23 年度「地球規模課題国際研究ネットワーク事業」  
（国際研究ネットワーク形成等の推進）の公募について～

農林水産省農林水産技術会議事務局より、平成 23 年度「地球規模課題国際研究ネットワーク事業」（国際研究ネットワーク形成等の推進）の公募に 関する連絡がありました。公募内容について

は、[http://www.s.affrc.go.jp/docs/research\\_international/2011/net\\_2011.htm](http://www.s.affrc.go.jp/docs/research_international/2011/net_2011.htm) をご覧ください。公募期間は 2 月 22 日（火）までです。

本件に関し、ネットワークを活用しての応募を希望される場合は、JISNAS 事務局として可能な支援（公募内容に関する農林水産技術会議事務局 への照会、事業パートナーに関する他会員大学への照会等）を行う所存ですので、その際にご相談ください。なお、九大と名大は共同提案を検討しているようですので、参加の関心のあるメンバーはお知らせください。

**【JISNAS・重要】平成23年度 JICA 課題別研修（集団）「アフリカ 稲作振興のための中核的農学研究者の育成」への協力依頼について**

JISNAS の枠組みを活用した国際協力事業として、運営委員会の承認を受けて、平成22年6月に名古屋大学農学国際教育協力研究センターから文科省に提案した平成23年度 JICA 課題別研修（集団）「アフリカ 稲作振興のための中核的農学研究者の育成」が採択見込みとなり、JICA 中部センターは、JICA の規程に則って、1/27 付けで同案件について公示しました。他に応募がない場合は、提案者の農国センターが委託を受けて実施することになります。

([http://www.jica.go.jp/chotatsu/domestic/chubu/2010/koji\\_110127\\_02.pdf](http://www.jica.go.jp/chotatsu/domestic/chubu/2010/koji_110127_02.pdf))

本案件は、応募当初から会員大学と共同で実施することを想定しており、今般、名古屋大学農学国際教育協力研究センター（ICCAE）より、JISNAS の枠組みを活用して、JISNAS 会員大学より協力いただける大学を募ることの依頼がありました。

つきましては、添付資料のとおり協力依頼をさせていただきますので、協力いただける（又はその可能性のある）大学は、添付資料の別添2様式を、2月13日（日）までにJISNAS事務局（担当：伊藤圭介 [jisnas@agr.nagoya-u.ac.jp](mailto:jisnas@agr.nagoya-u.ac.jp)）まで送付頂きますようお願い申し上げます。

JISNAS 便り（臨時版 2/7）～日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画（遺伝子資源コースの募集案内）～

農林水産省より、以下の通り、日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画（遺伝子資源コースの募集案内）に関する連絡がありましたので、お知らせいたします。

応募の締切は、2011年2月15日（火）15時00分必着ですので、ご関心のある方は、お早めに対応ください。

「日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画（遺伝子資源コースの募集案内）」

この度、日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画（\*）の枠組みにて、メキシコ政府の主催により、3月28日～4月8日の日程にて、遺伝子資源に関する短期の研修コースが実施される運びとなり、同研修コースの募集要項を外務省HPに発表致しました。遺伝子資源コース募集要

項：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mexico/gp2010-is.html>

（\*）1971年以来、両国の相互理解と友好親善の増進を目的として実施されてきた、両国研修生の相互の派遣事業である「日墨交流計画」は、昨年2月に日墨首脳間で発表された共同声明：

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mexico/visit/1002\\_ks.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mexico/visit/1002_ks.html)

の内容を踏まえ、日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画の新名称の下、新たなスタートを切りました。）

本研修コースは、遺伝子資源の分野における実務家、専門家、研究者（大学院生及び博士研究員も可）などを対象とするコースであり、研修への参加にご関心をお持ちの方がいらっしゃれば、上記募集要項をご参照の上、是非ご応募頂ければと思います。関係機関の皆様におかれましては、本遺伝子資源コースの周知に御協力頂ければ幸いです。